

北環協の40年

An abstract graphic of a city skyline composed of various vertical rectangular blocks of different heights and widths, some with horizontal lines. A bright starburst light emanates from the top right, with a vertical line extending downwards from it. The background is dark grey with scattered white specks, resembling a night sky.

創立40周年記念

北海道環境整備事業協同組合

ご挨拶

北海道環境整備事業協同組合
理事長 福田 安治



北海道環境整備事業協同組合は、創立 40 周年を迎えることができました。

これもひとえに、関係機関の皆様からの温かいご指導、そして組合活動を支えてこられた諸先輩方、ならびに組合員各位の日頃のご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

当組合の歩みを振り返りますと、昭和 59 年 9 月 13 日に北央環境整備事業協同組合として法人化し、昭和 62 年 9 月に現在の北海道環境整備事業協同組合へと改称いたしました。

その設立は、故・富永政美氏（豊平公益株式会社の前身である豊平公益清掃企業組合理事長）ならびに故・石丸信夫氏（昭和 53 年 11 月に豊平公益清掃企業組合と合併した札幌共栄企業組合理事長）のお二方の多大なるご尽力によるものであります。

その後、初代理事長・故山火専松郎氏（夕張環境清掃株式会社代表取締役）に引き継がれ、今日の令和の時代へと至っております。

この十年を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の拡大、共同購入事業の一部撤退、全国組織からの脱退など、組合として多くの試練と決断を経験いたしました。これらの出来事は、私たちが次の時代へ向けて歩むための大きな学びともなりました。

現在、わが国は超少子高齢化と慢性的な人口減少という大きな転換期を迎えており、とりわけ地方の市町村においてその影響が顕著に現れています。これは、私たちの業界にとっても存立基盤を揺るがしかねない重要な課題であります。

だからこそ、地域の行政や住民の皆様とともに、地域を守り育てていく役割を果たすことが、これまで以上に求められています。地域に根ざし、地域とともに歩む行政と企業があつてこそ、地域の未来は築かれていくものと確信しております。

創立 40 周年という節目を迎え、私たち組合員一人ひとりが何をすべきか、組合として何を果たすべきかを、協同組合の精神に立ち返りながら、過去にとらわれることなく未来に向けて議論し、実践していく所存です。

また、ふるさと北海道の美しく豊かな自然環境を守り、より良い生活環境を次世代へ引き継ぐため、環境重視の社会づくりに向けて、今後ともたゆまぬ努力を続けてまいります。

最後になりますが、本記念誌の発刊にあたり、多大なるご協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

40 周年を一つの通過点として、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

目 次

●ご挨拶	北海道環境整備事業協同組合理事長	福田 安治	
●祝辞			
祝辞	北海道知事	鈴木 直道 様	… 1
祝辞	北海道議会議員	藤沢 澄雄 様	… 2
祝辞	北海道中小企業団体中央会会長	高橋 秀樹 様	… 3
●協同組合 40 年のあゆみ			
協同組合の設立			6
協同組合の主な実施事業			7
受賞された方々			15
●協同組合に在職した役職員			
歴代理事長・歴代役員			20
歴代事務局職員			24
●組合員紹介			
協業組合エクセル三和			28
有限会社カワバタ衛生企画			29
有限会社クリーンセンターミカサ			30
サンアイ株式会社			31
株式会社シティック			32
株式会社データベース			33
株式会社ハヤシ環境			34
株式会社津別総合管理センター			35
株式会社白老清掃			36
株式会社美唄環境センター			37
株式会社亀田清掃			38
有限会社共和清掃社			39
空知環境総合株式会社			40
有限会社恵庭清掃社			41
有限会社月形環境センター			42
株式会社佐野衛生舎			43
有限会社中川清掃社			44
道東地方環境整備興発株式会社			45
有限会社日高清掃社			46
有限会社米津環境清掃			47
株式会社北興設備工業			48
北後志清掃企業組合			49
有限会社丸瀬布清掃			50
夕張環境清掃株式会社			51
株式会社羊蹄清掃社			52
●賛助会員紹介			
株式会社日環商事			54
有限会社一伸			54
フジクリーン工業株式会社 札幌支店			55
株式会社北海特車サービス			55
株式会社北海道モリタ			56
札幌北宮株式会社			56
北海道川崎建機株式会社			57
記念誌作成にあたりご協賛いただいた企業の皆様			57
●組合役員等による対談			58
●編集後記			65

祝 辞

北海道知事 鈴木 直道



北海道環境整備事業協同組合が、創立 40 周年の節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴組合は、昭和 58 年に北央環境整備事業協同組合として設立されて以来、廃棄物処理に関する技術や知識の向上、廃棄物の適正処理の普及啓発、浄化槽の清掃や保守点検など、道民の皆様の快適な暮らしの確保に努められるとともに、道民、事業者、行政が連携して環境保全活動に取り組む「環境道民会議」にも積極的に参画いただいています。

また、平成 30 年の北海道胆振東部地震では、仮設トイレの設置協力等を通じ、被災地域における公衆衛生の確保にご支援を賜るとともに、令和 3 年には、道と「大規模災害発生時における災害対応の協力に関する協定」を締結し、協定に基づき、道内市町村と災害廃棄物の処理等に関する協力体制を構築いただくなど、地域における災害対応力の強化にも多大なお力添えをいただいています。

長きにわたり、安全安心な暮らしの確保にご尽力されてきた、福田代表理事をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

近年、気候変動や生物多様性の損失などを背景に、脱炭素化に向けた動きが広がり、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を目指すことが、世界の潮流となっています。

道としても、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、再生可能エネルギーの最大限の活用や二酸化炭素吸収源の確保など、脱炭素化に取り組むとともに、廃棄物の適正処理や 3R の推進、リサイクル関連産業を中心とした循環型社会ビジネスの振興など、各般の施策を進めています。

今後、こうした取組を一層加速させていくためには、廃棄物の処理に関する豊富な知見を有し、地域において生活環境の維持・向上に努められてきた貴組合の皆様のお力添えが欠かせません。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会を実現するため、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立 40 周年の節目を新たなスタートとして、北海道環境整備事業協同組合がますます発展されることを願いますとともに、会員の皆様のさらなるご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

北海道議会議員 藤沢 澄雄



北海道環境整備事業協働組合の創立 40 周年を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。貴組合におかれましては、昭和 59 年の創設以来、永年にわたって本道的生活環境向上のためにご尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

人口減少社会への対応は待ったなしの状態を迎え、貴組合所属の皆さまの営業地域でも、少子高齢化や出生率低下、晩婚化など人口減少は地域の存在そのものを危うくする問題であり、地域社会の下支えを担う会員皆さまの業務にも少なからず影響が及ぶものと考えます。日本全国、どこに住んでいても快適な社会生活を営む為の環境の整備は行政の務めであり、それと一体となり地域を支える組合員各位の存在とご努力に期待を寄せるものです。

新型コロナウイルス禍で話題となった言葉に「エッセンシャルワーカー」があります。「日常生活を維持するために必要不可欠な仕事に従事する人」を指す言葉ですが、皆さまの業務は正しく社会にとって必要不可欠な分野であります事から、社会がその存在や役割を明確に認識し、行政と一体となってその業務が営めるための配慮が欠かせないと考えます。又、その存在を知らしめるのは私の役割でもあると心得ております。

近年は地球温暖化対策を含めて、環境問題は最重要政策課題のひとつであります。地域に限らず、国民一人ひとりが地球人として環境維持、改善に取り組む事が求められ、SDGS の考えはそれを具体化、細分化したものです。組合員の皆さまが業務とする廃棄物処理やし尿処理に関する事業は近代社会において欠くことのできない重要な分野であり、更にこれまで「ゴミ」としていたものが「資源」となり得る技術の革新が見られたことから、資源の少ない日本にあっては SDGS の考えにも則した正しく未来型の「期待される業界」だと私は考えます。加えて、本道における広域分散型住環境では、合併浄化槽の有用性を更に周知し、広く道民に認識を広める必要性も感じています。

最後に、時代は常に変化し、社会での役割も変化し得るものである事から、貴組合会員の皆様におかれましては、新しいビジネスモデル構築も視野に、更に業界が安定し発展されることを心よりお祈り申し上げ、40 周年におけるお祝いの辞とさせていただきます。

祝 辞

北海道中小企業団体中央会
会 長 高橋 秀樹



北海道環境整備事業協同組合が創立 40 周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。貴組合は、昭和 59 年 9 月に道内の廃棄物処理等を行う事業者により、前身の北央環境整備事業協同組合として設立されて以来、浄化槽法や廃棄物処理に関する研修会やリサイクル施設の視察などを実施し、組合員並びに関係事業者に対する廃棄物の適正な処理の普及啓発に努めるとともに、共同購買事業などを通じて、組合員の経営基盤の確立と経済的地位の向上に大きく貢献してこられました。

特に、経済の低迷や社会構造の変化といった幾多の困難に対し、組合員が一丸となって取り組み、さらには循環型社会の構築を目指してリサイクル推進や廃棄物処理の適正化を追求し、研修会や研究活動を通じて組合員の知識と経営力の向上に努め、大きな成果を上げられております。これもひとえに福田理事長を始め、歴代の役員、組合員の皆様の熱意とたゆまぬ努力の賜物であり、深く敬意を表する次第です。

さて、道内経済については、新型コロナウイルスの影響から脱却しつつある中、インバウンドの再開などによる観光需要の回復や個人消費の増加など、景気回復の兆しが見える一方で、長引くエネルギーや原材料価格の高騰などにより事業コストが増加していることに加え、慢性的な人手不足など様々な課題にも対応していかなければなりません。

このように先が見通せない環境の中、地域に根ざした事業活動を行う中小企業・小規模事業者が持続的に発展していくために、相互扶助の精神を基本とする中小企業組合をはじめとする連携組織が今こそ力を発揮できるものと考えております。

本会といたしましても、中小企業連携組織の専門機関として「連携の絆を深め、輝く明日へ」のスローガンの下、この状況を乗り切るために、専門家を活用した相談・支援体制を強化することはもとより、課題解決に向けた様々な事業に積極的に取り組み、中小企業・小規模事業者の連携組織化の促進と会員事業者の事業活動の支援に努めてまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴組合が創立 40 年という節目を迎えられ、今後とも組合員の結束のもとさらに飛躍されますよう心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

◆ 協同組合40年のあゆみ ◆

北海道環境整備事業協同組合の設立

北海道環境整備事業協同組合は、当初、北央環境整備事業協同組合として、昭和 59 年 9 月 13 日設立された。

地 区 北海道の地域

出資 1 口の金額 金 10,000 円

出資払込の方法 出資は、一時に金額を払い込まなければならない

出資の総額 185 口

払込済出資総額 1,850,000 円

事務所所在地 札幌市白石区本通 5 丁目南 4 番 11 号

目的等（事業）

- 1 組合員の事業に必要な車輛、機械器具及び業務資材等の共同購入
- 1 組合員の事業に関する調査、研究
- 1 組合員に対する事業資金の貸付け及び組合員のためにするその借入れ
- 1 組合員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結
- 1 組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供
- 1 組合員及びその従業員の福利厚生に関する事業
- 1 前各号の事業に附帯する事業

昭和 62 年 9 月 9 日 現在の「北海道環境整備事業協同組合」と改称した。

【北海道環境整備事業協同組合と名称を変更する理由】

本組合は設立に際し、空知地区、石狩地区、後志地区、胆振地区、日高地区、十勝地区で廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律第 137 号)の規程によって、一般廃棄物若しくは産業廃棄物の処理又はし尿浄化槽の清掃を業とする者が結集して組合事業を展開してきましたが、昭和 62 年 4 月 1 日をもって、新たに斜里郡小清水町、桧山郡江差町、宗谷郡猿払村の業者が加入したことにより、今後より一層の組合活動を進めていくうえで「北央環境整備事業協同組合」という名称を変更し、広く北海道全域で積極的に当組合及び業界全体の事業を展開するべきだという組合員の要望にこたえるために行った。

昭和 63 年 12 月 1 日事務所移転

札幌市白石区本郷通 6 丁目北 2 番 8 号

協同組合の主な実施事業

平成 27 年以前の主な事業

昭和 62 年度

青年部の設立

昭和 62 年 5 月 22 日の青年部設立総会を経て正式に設立された

青年部部长 佐々木雄治

青年部副部长 行方 将泰

運営委員 佐野喜義 望月 宏 倉本彰一 太田重男

監事 米津雅令 笹谷 稔

昭和 63 年度

環境衛生団体代表者会議（平成 2 年から廃棄物処理団体懇話会に名称変更）

（昭和 63 年度 12 月 20 日 於札幌市）

道の提案により、社団法人北海道浄化槽協会、社団法人北海道産業廃棄物協会、社団法人北海道環境保全協会、北海道環境整備事業協同組合の 4 団体で環境衛生団体を発足し、北海道保健環境部衛生施設課にオブザーバーとして参加し、意見交換、情報の交流等を深め協力していくことを目的に組織された

平成 4 年度

教育関係

講演会開催（青年部と共催）

演題「21 世紀に向けての農業集落排水処理施設の役割並びに 21 世紀に向けての生活 排水処理事業と浄化槽の役割」

（平成 5 年 1 月 16 日 於札幌市）

参加人員 組合員 29 名

行政関係 9 名

関係団体 5 名

平成 6 年度

研修会開催（廃棄物処理団体懇話会主催）

テーマ「一般廃棄物と産業廃棄物の処理の現状、不法投棄の実態及び廃棄物の再資源化」

（平成 7 年 2 月 7 日 於札幌市）

参加人員 168 名（内組合員 27 名）

平成 11 年度

研修会開催

演題「わが国に於ける廃棄物の方向と道内に於ける廃棄物の現状と課題」

北海道環境生活部環境室廃棄物対策課 課長補佐 田淵 修二氏

演題「農業集落排水と合併処理浄化槽水処理について」

（財）日本環境整備教育センター調査研究部長 大森 英明氏

演題「環境整備事業に係る低金利融資制度について」

(財)北海道環境財団 融資課長 谷村 公伸氏

演題「創造的中小企業育成支援制度について」

(社)北海道中小企業振興基金協会 専務理事 有沢 博氏

(平成 11 年 12 月 7 日 於札幌市)

参加人員 107 名 (内組合員 31 名)

平成 16 年度

創立 20 周年記念式典及び祝賀会

平成 16 年 9 月 29 日 (水) 午後 2 時

センチュリーロイヤルホテル 20F 白鳥の間

参加人員 組合員 38 名 組合員外 36 名

教育・情報に関する事業

平成 17 年度

教育・情報に関する事業

教育関係

一般廃棄物適正処理推進大会

演題「市町村合併と一般廃棄物処理計画」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

廃棄物対策課 技術専門官 村上 信也氏

「生ごみ・家畜糞尿など有機性廃棄物のリサイクル」

北海道大学大学院教授 農学博士 松田 従三氏

「行政と業界のあるべき姿」

全国環境整備事業協同組合連合会 会長 玉川 福和氏

(平成 17 年 10 月 21 日 於札幌市)

平成 18 年度

教育・情報に関する事業

教育関係

環整連北海道・九州地区連合会合同講演会

演題「バイオマス事業の将来性」

北海道大学大学院農学研究科 教授 松田 従三氏

「生ごみ資源化の課題と展望」

北海道大学大学院工学研究科 教授 谷川 昇氏

「人口減少の中の下水道設備」

財団法人 日本環境整備教育センター 調査研究部長 国安 克彦氏

「ディスポーザー対応型浄化槽による方向性」

(社)日立ハウステック事業戦略室 課長 古市 昌浩氏

「浄化槽の開発動向」

(社)浄化槽システム協会 技術部長 酒谷 孝宏氏

(平成 18 年 8 月 31 日 於札幌市)

参加人員 140 名 (道庁・学生・関連企業)

ホームページの開設

WEB 公開 平成 18 年 9 月 10 日

組合員・関連企業・事業内容・講演・各研修会等の紹介

組合員の事業に資するための情報提供をした

平成 22 年度

教育・情報に関する事業

教育関係

全国中小企業団体中央会補助事業

「費用収益構造とキャッシュフロー（体質改善のための経営企画）」

小川経営企画 代表 小川 孝二氏

「担体流動生物濾過方式及び接触ろ床方式浄化槽の構造及び清掃手順」

フジクリーン工業株式会社 札幌支店 品質保証部係長 山田 裕二氏

参加人員 29 名（平成 22 年 8 月 27 日 於札幌市）

平成 23 年度

北海道との連携

東日本大震災関係

平成 23 年 3 月 11 日、東北地方太平洋沖地震発生。

翌日の 12 日、当組合は高橋はるみ知事を本部長とする北海道災害対策本部と連携し、災害救済支援体制を構築。本年度においても引き続き、北海道災害対策本部と連携し、災害救済支援体制を構築した。

今年度に入り、支援体制を維持しながら、当組合として義援金を募り平成 23 年 12 月 5 日組合三役出席の下、高橋はるみ知事に義援金 1,000,000 円を贈呈した。

平成 27 年度以降

I 事業活動に関する事項

1. 主要な事業の経過及びその成果

1) 研修報告

(1) 平成 27 年度第 1 回研修会

“富良野市地域循環熱供給事業並びに鹿追町バイオガスプラント研修”

・開催日時 平成 27 年 9 月 3 日（木曜日）・4 日（金曜日）

・研修場所

①富良野市リサイクルセンター

富良野市山部西 20 線 21 号 TEL 0167-42-2102

担 当 総務部市民課リサイクルセンター

係長 高橋 秀文 様

②鹿追町環境保全センター

鹿追町鹿追北 4 線 5 番地 TEL 0156-66-4111

担 当 農業振興課環境保全センター係

城石 賢一 様

・宿泊場所 ハイランドふらの

富良野市島の下 TEL 0167-22-5700

- ・参加者数 24 名
- (2) 平成 27 年度第 2 回研修会
 - ・開催日時 平成 27 年 10 月 8 日（木曜日）15：00
 - ・開催場所 TKP 札幌ビジネスセンター カンファレンスルーム 5C
 - ・タイトル 危機管理
 - ・講師 河田経営企画
 - 代表 中小企業診断士 河田 真清 様
 - ・参加者数 10 名
- (3) 平成 27 年度第 3 回研修会
 - ・開催日時 平成 28 年 3 月 2 日（水曜日）15：00
 - ・開催場所 北海道自治労会館
 - ・研修内容
 - ①最高裁判例に伴う環境省廃・リ対策部長通知について
 - 担 当 組合事務局長 谷田部 篤
 - ②浄ナビがサポートする浄化槽整備推進事業システム
 - 講 師 NPO 法人浄化槽ナビゲータ認証機構
 - 審査員 古市 昌浩 様
 - ・参加者数 20 名
 - 懇話会 24 名 合 計 35 名

平成 28 年度

- (1) 平成 28 年度研修会
 - “浄化槽保守点検・11 条検査対策並びに浄ナビ管理サポートツール研修”
 - ・開催日時 平成 28 年 9 月 9 日（金曜日）・10 日（土曜日）
 - ・研修内容
 - ① CE・CS 型浄化槽保守点検実技指導
 - ②『浄化槽法』第 11 条検査対策ポイント
 - ③『浄ナビ』浄化槽管理サポートツールの意味するもの
 - ④平和浄化センター視察
 - ・講師 大倉 直光 様
 - 検査機関である（公社）北海道浄化槽協会の検査部長、常務理事を歴任されたエキスパートの方です。
 - ・宿泊場所 ホテル マウントレースイ
 - 夕張市末広 2 丁目 4 番 電話：0123-52-2211
 - ・参加者数 30 名

平成 29 年度

I 事業活動に関する事項

1. 主要な事業の経過及びその成果

1) 研修会の開催

(1) 平成 29 年度第 1 回研修会

- ・開催日時 平成 29 年 9 月 14 日（木曜日）

- ・開催場所 北海道自治労会館 4階 第4会議室
 - ・研修内容
 - 第1部 ロータリーブローアの構造及びメンテナンス方法について
講師 東浜商事(株)札幌営業所 所長 中井 誠 様
 - 第2部 ポンプ・ブロー製品説明ポンプ故障時対応について
講師 新明和工業(株) 流体営業部 部長 二階堂 正治 様
 - ・参加者数 33名
- (2) 平成29年度第2回研修会
- ・開催日時 平成30年3月15日(木曜日)
 - ・開催場所 北海道自治労会館 4階 第4会議室
 - ・研修内容
 - 第1部 持続発展可能な污水处理施設整備へ
浄ナビサポートシステム『浄化槽ナビゲーションシステム』について
講師 NPO法人浄化槽ナビゲータ認証機構
システム構築委員長 武部 史彦 様

浄化槽ナビゲータ認証機構とは

- ・浄化槽ビジネスの流れと課題
- ・污水处理整備に関する背景情報
- ・浄ナビサポートシステムが目指すこと
- ・浄化槽ナビゲーションシステムについて
- ・まとめ
- 第2部 浄化槽ナビゲータ認証登録制度について
講師 NPO法人浄化槽ナビゲータ認証機構
審査員 大川 耕平 様
- ・浄化槽ナビゲータの目的
- ・浄化槽ナビゲータの特徴
- ・評価認証システムのイメージ
- ・経営システム要求事項
- ・浄化槽ナビゲータ認証・登録のめざすところ
- ・参加者数 15名

平成30年度

I 事業活動に関する事項

1. 主要な事業の経過及びその成果

1) 研修会の開催

(1) 平成30年度研修会

①水中ポンプ及びブローアについての研修

- ・開催日時 平成30年7月27日(金)
- ・研修内容及び講師

○水中ポンプのトラブルシューティングについて

講師：(株)鶴見製作所 札幌営業所 所長 大島 卓 様

○メドーブローアの製品について

講師：日東工器(株)メドー事業部 主任 渡辺 健 様

・参加者数 19 名

②役員研修

・開催日時 平成 30 年 12 月 6 日（木）

・テーマ 高齢化、人口減少しかも通減下における組合在り方・運営を考える

・参加者数 9 名

平成 31・令和元年度

I 事業活動に関する事項

1. 主要な事業の経過及びその成果

1) 研修会の開催

(1) 令和元年度第 1 回研修会

・開催日時 令和元年 8 月 22 日（木）午後 1 時 20 分

・開催場所 北海道自治労会館

・研修内容及び講師

第 1 部：シーディング剤イグアス Ex を使用して

講師：(有)カワバタ衛生企画 代表取締役 川幡 譲 様

小林 友史 様

第 2 部：水中ポンプ・微細目スクリーン・レベルスイッチの構造について

講師：エレポン(株) 代表取締役 村田 雅男 様

仙台出張所 所長 三浦 光浩 様

・参加者数 24 名

(2) 令和元年度第 2 回研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止した。

予定していた内容は、下記のとおり。

・開催予定日 令和 2 年 3 月 18 日（水）午後 2 時 20 分

・開催場所 北海道自治労会館

・研修内容

第 1 部『浄化槽法の一部を改正する法律』について

講師：北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

専門主任 成本 英史 様

主任 藤田 竜太 様

第 2 部『令和時代の財政の在り方に関する建議』と『全道みな下水道構想

Ⅳ』について

令和 2 年度

1) 研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修会の開催を見合わせた。

令和 3 年度

I 事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度（末日）における主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果
 - 1) 研修会の開催
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修会の開催を見合わせた。
 - 2) 新型コロナウイルス感染防止対策事業
新型コロナウイルス感染防止対策のため、『令和3年度中小・小規模事業者販売促進緊急支援事業費補助事業』を活用し、日本産業規格（JIS）T9001 取得のマスクを配布。
 - ・補助申請額 675,840 円
 - ・北海道補助金 460,800 円

令和4年度

I 事業活動の概況に関する事項

1. 主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

- 1) 研修会の開催

8月18日（木）第1回研修会 札幌市において開催した。

浄化槽管理対策

- (1) 浄化槽から発生する害虫と防除

講師 国際衛生(株) 営業本部 製品営業部長 持水 透雄 様

- (2) 浄化槽の脱臭・水質向上対策

講師 (株)フィールドエクセル 水質管理営業部 課長 斎藤 宏之 様

- (3) 浄化槽の修理・修繕 (株)ecoment 代表取締役 由田 龍介 様

令和5年度

I 事業活動の概況に関する事項

1. 主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

- 1) 研修会の開催

新型コロナウイルス禍の感染拡大に伴い、開催を見合わせていた研修会を10月20、21日に余市町で実施した。参加者 28名

- ・第1部 13：45～15：30

北後志清掃企業組合様のご案内による

余市町内山田団地大型浄化槽 視察

余市町内要疾病者使用浄化槽 視察

- ・第2部 16：00～16：40 ホテル水明閣研修室

講師 フジクリーン工業札幌支店技術課マネージャー

小路（こうじ） 敏弘（としひろ） 様（さま）

フジクリーン PCN 型構造と維持管理

フジクリーン CA 型維持管理と不具合事例

- ・第3部 16：45～17：25

安全講習 DVD 視聴

ヒューマンエラーの原因を知ろう！

ヒューマンエラーを防ごう！

- 1) 組合員の動静
前年比 3社増

2) 組合員数

(1) 組合員数

期首 22社
期末 25社

- ・業務改善により 薬品取り扱い事業から撤退する
- ・令和5年度末で全国環境整備事業連合会からの脱退

令和6年度

I 事業活動の概況に関する事項

1. 主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

1) 研修会の開催

新型コロナウイルス禍の感染拡大に伴い、開催を見合わせていた研修会を美唄市ハイテクセンターにおいて7月26、27日に実施した。

参加者 延べ35名

研修講師、演題・北海道環境生活部循環型社会推進課
課長補佐 田中 敏明 様

演題 「北海道の污水处理整備状況について」

- ・美唄市上下水道課長 山之内 雪 様

演題 「美唄市の下水道の現状」

- ・フジクリーン工業(株)技術課マネージャー 小路 敏広 氏

演題「浄化槽機器故障症状と原因と維持管理点検道具の使い方」

- ・株式会社 雪屋 媚山商店 大番頭 本間 広達氏

演題「雪を中心としたサーキュラーエコノミー」

- ・全国環境整備事業協同組合連合会 脱退する

令和7年度

I 事業活動の概況に関する事項

1. 主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

1) 研修会の開催

日 程 令和7年10月17日(金)～18日(土)参加者

- ・演 題 「北海道の一般廃棄物処理の現状」

北海道環境生活部循環型社会推進課 課長補佐 水谷 純 様

- ・演題題 「遠軽町の一般廃棄物処理の現状」遠軽町民生部住民生活課
主事補 古屋 翔 様

- ・演 題「遠軽クリーンセンター概要説明」

荏原環境プラント株式会社 副所長 鈴木 健太 様

- ・施設見学

えんがるクリーンセンター

えんがるリサイクルセンター

参加者 延べ35名

各種団体からの表彰受賞者

・環境大臣表彰

令和 7 年度 循環型社会形成推進功労者等 環境大臣表彰
道東地方環境整備興発株式会社
代表取締役 笹谷 稔 様

・北海道産業貢献賞

平成 27 年度 北海道環境整備事業協同組合

・北海道社会貢献賞 環境衛生功労

令和 6 年度 道東地方環境整備興発株式会社
代表取締役 笹谷 稔 様

令和 7 年度 株式会社美唄環境センター
代表取締役 福田 安治 様

北海道中小企業団体中央会 表彰

【平成 26 年度】

・ 有限会社 丸瀬布清掃	代表取締役	小谷 和子	様
・ 有限会社 恵庭清掃社	代表取締役	倉本スゞ子	様
・ 有限会社 佐野衛生舎	代表取締役	佐野 喜義	様

【平成 27 年度】

・ 有限会社 羊蹄清掃社	代表取締役	坂本 次男	様
・ 北後志清掃企業組合	代表理事	土田 武彦	様

【平成 28 年度】

・ 有限会社 カワバタ衛生企画	代表取締役	川幡 直	様
・ 株式会社 CRC	代表取締役	江本 茂松	様

【平成 30 年度】

・ 道東地方環境整備興発株式会社	代表取締役	笹谷 稔	様
------------------	-------	------	---

【令和元年度】

・ 夕張環境清掃株式会社	代表取締役	池元 敬三	様
--------------	-------	-------	---

【令和 2 年度】

・ 有限会社 クリーンセンターミカサ	代表取締役	佐藤 親志	様
--------------------	-------	-------	---

【令和 4 年度】

・ 株式会社 ハヤシ環境	代表取締役	林 幹雄	様
--------------	-------	------	---

【令和 5 年度】

・ 株式会社 美唄環境センター	代表取締役	福田 安治	様
-----------------	-------	-------	---

【令和 7 年度】

・ 株式会社 夕張環境清掃株式会社	取締役	関谷 誠	様
-------------------	-----	------	---

組合表彰を受賞された皆様

年度	感謝状	功労表彰	従業員表彰
平成25年度	故 米津 雅令 様 有限会社米津環境清掃	小谷 和子 様 有限会社丸瀬布清掃	
	故 林 博幸 様 株式会社ハヤシ環境	佐野 喜義 様 株式会社佐野衛生舎	
		倉本スゞ子 様 有限会社恵庭清掃社	
平成26年度		坂本 次男 様 株式会社羊蹄清掃社	原田 常雄 様 (20年) 空知環境総合株式会社
		土田 武彦 様 北後志清掃企業組合	林 健太 様 (10年) 空知環境総合株式会社
			杉村 静雄 様 (10年) 有限会社カワバタ衛生企画
			小林 友史 様 (10年) 有限会社カワバタ衛生企画
			横山 均 様 (10年) 有限会社クリーンセンターミカサ
平成27年度		川幡 直 様 有限会社カワバタ衛生企画	沼田 壽 様 (20年) 株式会社CRC
		江本 茂松 様 株式会社CRC	佐藤 則三 様 (10年) 株式会社CRC
		丹羽 道正 様 株式会社白老清掃	谷 裕二 様 (10年) 株式会社CRC
平成28年度		長谷川 勉 様 協業組合エクセル三和	片山 将人 様 (20年) 空知環境総合株式会社
			山火 敦夫 様 (20年) 夕張環境清掃株式会社
			野沢 秀一 様 (10年) 夕張環境清掃株式会社
平成29年度		道東地方環境整備興発株式会社 笹谷 稔 様	清水 宏樹 様 (20年) 株式会社シティック
平成30年度		夕張環境清掃株式会社 池元 敬三 様	山田 宏明 様 (10年) 空知環境総合株式会社
令和元年度		有限会社クリーンセンターミカサ 佐藤 親志 様	島田 堂 様 (20年) 株式会社美唄環境センター
			鷹嘴 直昭 様 (20年) 株式会社シティック
			宮本 智 様 (20年) 株式会社シティック

年度	感謝状	功労表彰	従業員表彰
令和2年度		株式会社ハヤシ環境 林 幹雄 様	田中 聡 様 (20年) 株式会社美唄環境センター
			秋田 由香 様 (20年) 株式会社シティック
令和3年度			平池 正樹 様 (20年) 企業組合サンアイ
令和4年度			関谷 誠 様 (40年) 夕張環境清掃株式会社
令和5年度			高田 明 様 (20年) 企業組合サンアイ
			佐藤 修 様 (20年) 株式会社美唄環境センター
			水野 かおり 様 (10年) 北海道環境整備事業協同組合
令和6年度			関 光道 様 (20年) 北後志清掃企業組合
令和7年度			小林 秀祐 様 (20年) カワバタ衛生企画
			小林 友史 様 (20年) カワバタ衛生企画

◆ 協同組合に在職した役職員 ◆

歴代理事長・歴代役員

年度	理事長	副理事長	専務理事	理事	監事
昭和58年度	山火専松郎	小和田賢一 山田 明	三上 東 木下 義秋 鈴木 博	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁	江本 信孝 加藤 初夫
昭和59年度	山火専松郎	小和田賢一 山田 明	三上 東 木下 義秋 鈴木 博	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁	江本 信孝 加藤 初夫
昭和60年度	山火専松郎	小和田賢一 山田 明	三上 東 木下 義秋 鈴木 博	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁	江本 信孝 加藤 初夫
昭和61年度	山火専松郎	小和田賢一 山田 明	三上 東 木下 義秋 鈴木 博	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁	江本 信孝 加藤 初夫
昭和62年度	山火専松郎	木下 義秋 鈴木 博	三上 東 山田 明 江本 信孝	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁 小野寺隆之	林 已之助 加藤 初夫
昭和63年度	山火専松郎	木下 義秋 鈴木 博	三上 東 山田 明 江本 信孝	倉本米次郎 藤田 政行 佐々木進雄 山本 鎧一 大谷 仁 小野寺隆之	林 已之助 藤井 計養
平成元年度	木下 義秋	鈴木 博 江本 信孝	三上 東 山田 明 佐々木進雄	山本 鎧一 藤井 計養 林 博幸 丹羽 道正 行方 将泰 中田 拓哉	小野寺隆之 熊田 登 川幡 直
平成2年度	木下 義秋	鈴木 博 江本 信孝	三上 東 山田 明 佐々木進雄	山本 鎧一 藤井 計養 林 博幸 丹羽 道正 行方 将泰 中田 拓哉 (4/30退)	(小野寺隆之) 熊田 登 川幡 直
平成3年度	江本 信孝	鈴木 博 山田 明	三上 東 川幡 直 丹羽 道正	藤井 計養 林 博幸 熊田 登 佐々木進雄 行方 将泰 笹谷 稔	前川 徳美 坂本 次男 米津 雅令
平成4年度	江本 信孝	鈴木 博 山田 明	三上 東 川幡 直 丹羽 道正	藤井 計養 林 博幸 熊田 登 佐々木進雄 行方 将泰 笹谷 稔	前川 徳美 坂本 次男 米津 雅令
平成5年度	江本 信孝	山田 明 丹羽 道正	三上 東 川幡 直 前川 徳美	藤井 計養 林 博幸 渡辺 一一 佐々木雄治 行方 将泰 笹谷 稔	米津 雅令 坂本 次男
平成6年度	江本 信孝	山田 明 丹羽 道正	三上 東 川幡 直 前川 徳美	藤井 計養 林 博幸 渡辺 一一 佐々木雄治 行方 将泰 笹谷 稔	米津 雅令 坂本 次男

年度	理事長		副理事長		専務理事		理事				監事	
平成7年度	江本	信孝	山田	明	三上	東	渡辺	一一	林	博幸	米津	雅令
			丹羽	道正	川幡	直	笹谷	稔	坂本	次男	佐々木	雄治
					前川	徳美	行方	将泰	田端	真佳		
平成8年度	江本	信孝	山田	明	三上	東	渡辺	一一	林	博幸	米津	雅令
			丹羽	道正	川幡	直	笹谷	稔	坂本	次男	佐々木	雄治
					前川	徳美	行方	将泰	田端	真佳		
平成9年度	江本	信孝	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	渡辺	一一	行方	将泰	多田	治夫	佐々木	雄治
					坂本	次男	上田	一	三上	徹		
平成10年度	江本	信孝	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	渡辺	一一	行方	将泰	多田	治夫	(佐々木雄治)	
					坂本	次男	上田	一	三上	徹		
平成11年度	江本	信孝	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	渡辺	一一	行方	将泰	多田	治夫	土田	武彦
					坂本	次男	上田	一	三上	徹		
平成12年度	江本	信孝	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	渡辺	一一	行方	将泰	多田	治夫	土田	武彦
					坂本	次男	上田	一	三上	徹		
平成13年度	江本	信孝	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	鈴木	昭	行方	将泰	長谷川	勉	土田	武彦
					坂本	次男	三田	益弘	三上	徹		
平成14年度	鈴木	昭	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	笹谷	稔	米津	雅令
			川幡	直	坂本	次男	行方	将泰	藤井	謙和	土田	武彦
							長谷川	勉	三上	徹		
平成15年度	鈴木	昭	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	川幡	直	米津	雅令
			坂本	次男	佐藤	和男	笹谷	稔	行方	将泰	土田	武彦
					長谷川	勉	三上	徹				
平成16年度	鈴木	昭	丹羽	道正	前川	徳美	林	博幸	川幡	直	米津	雅令
			坂本	次男	佐藤	和男	笹谷	稔	行方	将泰	土田	武彦
					長谷川	勉	三上	徹				
平成17年度	鈴木	昭	坂本	次男	佐藤	和男	笹谷	稔	行方	将泰	土田	武彦
			長谷川	勉	川幡	直	林	博幸	三上	徹	岩崎	利明
					米津	雅令	前川	智紀				
平成17年度 S17.12.17変更	長谷川	勉	坂本	次男	佐藤	和男	福田	安治	行方	将泰	土田	武彦
			川幡	直	笹谷	稔	林	博幸	三上	徹	岩崎	利明
					米津	雅令	前川	智紀				
平成18年度	長谷川	勉	川幡	直	佐藤	和男	林	博幸	行方	正雄	土田	武彦
					笹谷	稔	三上	徹	福田	安治		
					米津	雅令						
平成19年度	長谷川	勉	佐藤	和男	行方	将泰	福田	安治	佐藤	親志	丹羽	道正
			笹谷	稔	林	幹雄						
					米津	雅令						

年度	理事長	副理事長	専務理事	理事				監事
平成20年度	長谷川 勉	笹谷 稔 丹羽 道正	福田 安治 行方 将泰 林 幹雄	米津 雅令	佐藤 親志			谷田部 篤
平成21年度	長谷川 勉	笹谷 稔 丹羽 道正	福田 安治 行方 将泰 林 幹雄	米津 雅令 川幡 直	佐藤 親志			谷田部 篤
平成22年度	長谷川 勉	笹谷 稔 丹羽 道正	福田 安治 行方 将泰 林 幹雄	米津 雅令 川幡 直	佐藤 親志			江本 茂松
平成23年度	長谷川 勉	笹谷 稔 福田 安治	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	川幡 直 竹端 敏晃	江本 茂松			丹羽 道正
平成24年度	長谷川 勉	笹谷 稔 福田 安治	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	川幡 直 竹端 敏晃	江本 茂松			丹羽 道正
平成25年度	長谷川 勉	笹谷 稔 福田 安治	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	川幡 直 竹端 敏晃	江本 茂松 丹羽 道正			関谷 誠
平成26年度	長谷川 勉	笹谷 稔 福田 安治	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	川幡 直 竹端 敏晃	江本 茂松 丹羽 道正			関谷 誠
平成27年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠			渡辺 哲夫	
平成28年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠			渡辺 哲夫	
平成29年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠			中村 雅人	
平成30年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠			中村 雅人	
平成31年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠			川幡 讓	
令和2年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠 川幡 讓			小谷 英充	
令和3年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠 川幡 讓			小谷 英充	

年度	理事長	副理事長	専務理事	理事		監事
令和4年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠 川幡 讓		小谷 英充
令和5年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠 川幡 讓		小谷 英充
令和6年度	福田 安治	笹谷 稔 江本 茂松	行方 将泰 林 幹雄 佐藤 親志	丹羽 道正 関谷 誠 小谷 英充		川幡 讓
令和7年度	福田 安治	小谷 英充 佐藤 親志	林 幹雄 関谷 誠	笹谷 稔 丹羽 道正 江本 茂松	川幡 讓	成澤 希

歴代事務局職員

年度	事務局長	書記	摘要
昭和58年度	薄井 昌五		
昭和59年度	薄井 昌五		
昭和60年度	薄井 昌五		
昭和61年度			
昭和62年度			
昭和63年度	中田 拓哉		
平成元年度	中田 拓哉		
平成2年度	中田 拓哉(4/30退任) 寺江 和男(5/1就任)		
平成3年度	寺江 和男		
平成4年度	寺江 和男		
平成5年度	寺江 和男		
平成6年度	寺江 和男		
平成7年度	寺江 和男		
平成8年度	寺江 和男		
平成9年度			
平成10年度		高松 富士子(8/1就任)	
平成11年度		高松 富士子	
平成12年度		高松 富士子	
平成13年度		高松 富士子	
平成14年度		高松 富士子	
平成15年度		高松 富士子	
平成16年度		高松 富士子	
平成17年度		高松 富士子(6/30退任) 深谷 しげ子(7/1就任)	
平成18年度		深谷 しげ子	
平成19年度		深谷 しげ子	
平成20年度		深谷 しげ子	
平成21年度		深谷 しげ子	
平成22年度	谷田部 篤(6/1就任)	深谷 しげ子(3/31退任)	
平成23年度	谷田部 篤	水野 かおり(4/1就任)	
平成24年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成25年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成26年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成27年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成28年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成29年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成30年度	谷田部 篤	水野 かおり	

年度	事務局長	書記	摘要
平成31年度	谷田部 篤	水野 かおり	
令和元年度	谷田部 篤	水野 かおり	
令和2年度	谷田部 篤	水野 かおり	
平成3年度	谷田部 篤	水野 かおり	
令和4年度	谷田部 篤(8/31退任) 西村 猛(9/1就任)	水野 かおり	
令和5年度	西村 猛	水野 かおり	
令和6年度	西村 猛	水野 かおり	
令和7年度	西村 猛	水野 かおり	

◆ 組合員のご紹介 ◆

協業組合 エクセル三和

代 表 者 代表理事 菅野 政博

所 在 地

〒 061-1111 北海道北広島市北の里 471 番地 7

TEL 011-372-2011 FAX 011-373-1095



会社概要

昭和 46 年 10 月 創立

昭和 47 年 01 月 設立

資本金 1,300 万円

従業員数 80 人

営業項目

一般廃棄物収集運搬業務（し尿含む）

産業廃棄物・特別産業廃棄物収集運搬業務

し尿浄化槽清掃維持管理業務

各種配管詰り清掃、修理業務

仮設トイレ等リース、修理及び販売業務

道路清掃業務・下水道管渠清掃業務

除雪業務、スズメバチ等駆除、その他

事業の目的・運営方針

社会の一隅を照らし、使命感を持ち、昭和 39 年創業から同じ志の人達と共に連綿として受け継ぎ、昭和 46 年 10 月に行政指導により三和公益企業組合として創立し、当時では全国で類の無い広域事務組合の委託業者として環境保全に日々努めて参りました。その間に多難な情勢を乗り越えながら 60 年を経過できましたことは、ひとえに北海道環境整備事業協同組合様をはじめ関係各位様のご指導、先人の諸先輩方をはじめ、従業員の努力の賜物と喪心より深く感謝申し上げる次第です。今後も、これまで同様お客様のニーズに応えるため、長年培ってきた信頼と技術で、より一層地域に貢献できるよう、地元清掃業のフラッグシップ企業として社会貢献し地域社会への「信頼と信用」をこれまで同様に目指してまいる所存です。



有限会社 カワバタ衛生企画

代 表 者 代表取締役 川幡 譲

所 在 地

〒 068-0115 岩見沢市栗沢町最上 8 番地 8

TEL 0126-45-2261

FAX 012-45-4537



会社概要

会社設立 昭和 55 年 1 月

資本金 500 万円

従業員 20 名

営業項目

- ・一般廃棄物処理業
- ・農業集落排水処理場維持管理
- ・下水道終末処理場維持管理
- ・浄化槽保守点検及び清掃
- ・し尿収集運搬
- ・産業廃棄物収集運搬

事業の目的・運営方針

浄化槽汚泥収集運搬に関しては、創業時より岩見沢市、栗沢町、北村地域栗山町全域を担当しており、住民サービスを第一に心がけています。



看板犬 ダッシュ君

有限会社 クリーンセンターミカサ

代 表 者 代表取締役 佐藤 親志

所 在 地

〒 068-2158 北海道三笠市堤町 1 番地 15

TEL 01267-2-2444

FAX 01267-3-1665



会社概要

平成元年 6 月 29 日 設立

資本金 300 万円

業員数 21 人

営業項目

三笠市し尿収集運搬業務

浄化槽保守点検・清掃業務

三笠市リサイクルプラザ維持管理業務

三笠市水処理施設維持管理業務

三笠市し尿処理場維持管理業務

三笠市下水道維持管理業務

ハチの駆除

事業の目的・運営方針

地域社会への貢献、健全経営

市民の快適な生活のために 汗を流し法令を遵守し 環境保全に全力で取り組む会社です。今後も地域貢献し 信用、信頼される企業を推し進めます。



看板犬 マロン

サンアイ 株式会社



代 表 者 代表取締役 佐々木 貢

所 在 地

〒 099-2321 網走郡大空町女満別西 1 条 5 丁目 2-9

TEL 0152-74-2621 FAX 0152-74-2011

会社概要

創 業 昭和 38 年 3 月 19 日

資本金 2,000 万円

業 種 リサイクル事業

営業項目

し尿収集運搬

浄化槽維持管理・清掃

一般廃棄物収集運搬

資源物収集運搬

産業廃棄物収集運搬・中間処理・最終処分

事業の目的・運営方針

「共に歩む、未来を築く」という経営理念は地域社会と協力し、共に進みながら持続可能な未来を築いていくことを表しています。

私たちの事業活動は未来の世代に豊かな地球を残すことを目指し、地域との連携を強化し、課題やニーズに応えながら環境保全や社会貢献に取り組んで参ります。

組織全体が一丸となって努力し、未来への橋渡しとなり、持続可能な社会の実現に向けて邁進していきます。



株式会社 シティック

代 表 者 代表取締役 行方 将泰

所 在 地

〒 056-0014 新ひだか町静内古川町 2 丁目 1 番 8 号

TEL 0146-42-0527

FAX 0146-42-0540



会社概要

設立年月日 1953 年 4 月

資本金 3,000 万円

従業員数 35 人

営業項目

- 公共下水道処理施設の維持管理及び清掃
- 合併処理施設・し尿処理施設の維持管理及び清掃
- 路面及び給排水管並びに下水道管、道路側溝の清掃
- 貯水槽保守点検及び清掃並びに水質検査に関する事業
- 河川改修等土木工事請負
- 冬期間の道路、歩道、駐車場等の除雪
- 一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬処理事業
- 浄化槽用シーディング剤の製造・販売
- 廃バッテリーのリサイクル回収業

事業の目的・運営方針

[目 的]

私たちは、環境保全の認識に立ち、かけがえのない地球を守り、廃棄物処理リサイクル事業活動を通じて、環境との調和をはかり、豊かで健全な社会の発展に貢献することを社会的使命と考え、社員及び弊社の業務に関わりのあるすべての人が一体となり環境の維持、向上に努めます。

[方 針]

1. 環境関連の法的・社会的要求事項を順守し、環境汚染の予防及び環境負荷の低減に努めます。
2. 地球環境に配慮した物品、資材などの選定に努め、省エネルギーの推進に努めます。
3. 地域社会の環境改善活動に積極的に取り組みます。
4. 環境教育を通じて、社員及び弊社の業務に関わりのあるすべての人に環境方針への意識高揚を図ります。
5. 事業活動について、環境に与える影響を的確に把握し、環境目的及び目標を定め、改善に取り組むと共に、定期的見直しによって継続的改善を行います。
6. この環境方針を文書化し社員及び弊社の業務に関わりのあるすべての人に周知するとともに、社外に公開します。

株式会社 データベース

代 表 者 代表取締役社長 清重 正樹

所 在 地

〒 060-0807 札幌市北区北 7 条西 5 丁目 8 番 5 号

TEL 011-726-7611 FAX 011-726-7565



事業の目的・運営方針

大切な水・環境を未来へつなぐ架け橋になりたい

世界の人々の命、生活、経済を考える上で、最も重要なものは「水」です。「水」は人々の命を支えているもっとも重要な「資源」です。DATABASE は、世界中の人々が水を安心して使い続けることができる、持続可能な社会を目指します。

宇宙的な視野で物事を捉え地球環境を創造しデータを駆使して国際社会に貢献します
低い位置からでは、物事の一部しか捉えることができません。宇宙から地球を見下ろすと陸や海の上に境界はなく、青く輝く水の惑星であることがわかります。宇宙的な広い視野をもつことで私たちが本来すべきことに気づくことができるはずです。また近年は情報技術の高性能化、低価格化がすすみ、データの収集ならびにその活用が重要視されています。DATABASE は、持続可能な社会の実現に向け、あらゆるデータを駆使して、新たな価値を創造し、国際社会に貢献します。

【沿革】

1978 年 10 月 札幌市中央区に北海道下水道メンテナンス株式会社として設立

1992 年 7 月 株式会社メンテックに社名変更

1995 年 5 月 札幌市北区に本社移転

2008 年 10 月 株式会社データベースに社名変更

大切な水・環境を未来につなぐ

DATA BASE

We're global engineers.



本 社 〒060-0807 北海道札幌市北区北 7 条西 5 丁目 8 番 5 号データビル 電話番号 (011) 726-7661 (代) FAX (011) 726-7565
東京本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2 丁目 8 番 1 2 号データ日本橋ビル 電話番号 (03) 5641-1381 FAX (03) 5641-1384

◆ 株式会社 ハヤシ環境

代 表 者 代表取締役 林 幹雄

所 在 地

〒 073-0035 北海道滝川市中島町 204 番地 7

TEL 0125-23-1500

FAX 0125-23-1616



会社概要

創立：昭和 59 年 3 月 1 日

資本金：1,000 万円

従業員数：20 人

営業項目

- 一般廃棄物収集運搬業務
- 産業廃棄物収集運搬業務
- 産業廃棄物処分業務
(廃プラスチック類の破碎・圧縮)
- 浄化槽保守点検・維持管理・清掃業務
- 下水道管渠清掃業務
- その他各種洗浄・清掃業務
- 仮設トイレ・ごみカゴのレンタル
- 除雪及び排雪業務

事業の目的・運営方針

北海道環境整備事業協同組合が創立 40 周年を迎えられたこと心からお祝い申し上げます。また、昭和 59 年の創立以来生活環境の保全や推進、広範な社会活動に取り組まれてこられた諸先輩の皆様には心より敬意と感謝の意を表します。

さて、昨今の経済情勢は大変厳しい状況にあります。

特に少子高齢化や働き方改革に伴う職場環境の変化による人材不足は危機的なものがあります。それに追い打ちをかけるかのような物価高と問題は山積みです。

このような問題を少しでも解決するために、今一度組合と一体になって取り組んで行けたらと思います。



本社社屋



たきかわスカイパーク
(グライダーの体験搭乗)

株式会社 津別総合管理センター

代 表 者 代表取締役 鵜田 康雄

所 在 地

〒 092-0225 北海道網走郡津別町字共和 219 番地 3

TEL 0152-75-5383

FAX 0152-75-5382



会社概要

資本金 300 万円

従業員数 13 人

営業項目

一般清掃業務

一般廃棄物収集運搬業務

産業廃棄物収集運搬業務

し尿収集運搬業務

浄化槽保守点検業務

浄化槽清掃業務

事業の目的・運営方針

地域住民に愛され、信頼され、環境保全に貢献できる会社づくりを目標とします。

津別町で一般廃棄物収集運搬、し尿収集運搬、浄化槽補修点検、清掃業を行っている会社です。平成 20 年に設立して以来 従業員 15 名ほどで運営しています。

規模は小さいですが従業員一致団結して頑張っています。人口減少、従業員の高齢化従業員の確保の難しさに直面しております。

とは言え町民のインフラの一部を担っていることを踏まえれば今後なお一層頑張れねばと考えています。組合の力を借りながら頑張る所存です。



株式会社 白老清掃

代 表 者 代表取締役 丹羽 智久

所 在 地

〒 059-0916 北海道白老郡白老町高砂町 3 丁目 436 番地 7

TEL 0144-82-2319

FAX 0144-82-5577



白 老 町
Shiraoi Town

会社概要

昭和 36 年 6 月 26 日 設立

資本金 1,000 万円

従業員数 36 人

平成 22 年 9 月 6 日 浄ナビ認証登録

営業項目

- 一般産業廃棄物収集運搬
- 白老町委託許可 一般廃棄物処理業
- 特管・産廃処理業
- 各種汚泥収集・運搬
- 下水道管・排水管及び各種高圧洗浄
- 浄化槽保守点検業
- 浄化槽施設設計・施工・維持管理
- 各種処理施設の清掃及び維持管理
- プラント設備高圧洗浄
- 重油タンク及び各貯蔵タンク清掃
- 地下タンク及び埋設配管の漏洩検査
- 路面清掃・散水作業
- 貯水槽・飲料水の水質検査及び清掃
- 土木・とび土工・管・造園工事業
- カメラ調査・止水工事

事業の目的・運営方針

事業活動に伴って生じる大気・土壌・水質の汚染を予防し、改善に努める



株式会社 美唄環境センター

代 表 者 代表取締役 福田 安治

所 在 地

〒 072-0006 北海道美唄市東 5 条北 1 丁目 2 番 35 号

TEL 0126-64-2305

FAX 0126-64-2307



会社概要

昭和 31 年 6 月 1 日 設立

資本金 1,000 万円

従業員数 15 人

平成 21 年 4 月 25 日 浄ナビ認証登録

営業項目

浄化槽保守点検・清掃業務

美唄市一般廃棄物収集運搬業務

特別管理作業廃棄物収集運搬業務

産業廃棄物収集運搬業務

下水道管・配水管及び各種高圧洗浄業務

各種汚水汚泥収集運搬業務

一般家庭配水管等各種洗浄業務

建築物飲料水貯水槽清掃業務

公園管理清掃草刈・剪定・冬囲い等業務

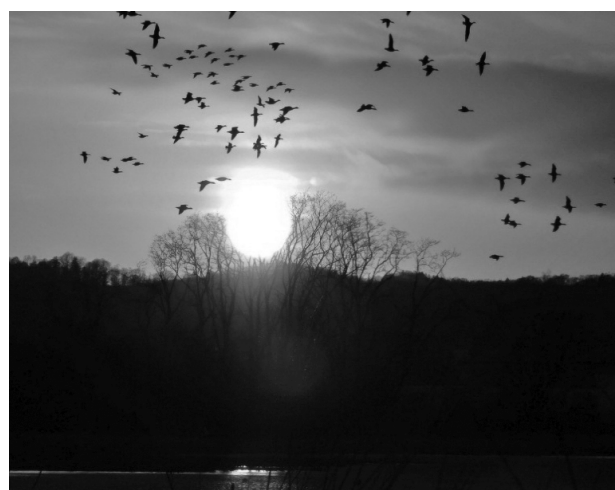
仮設トイレレンタル業務

事業の目的・運営方針

地域住民の快適な生活環境の確保と地域に最も信頼される会社づくりを目指す。

弊社は美唄市民の衛生的安全、快適な生活環境を確保するため清掃及び浄化槽等の維持管理事業を営み地域住民に信頼され地域貢献できる企業を目指して日々営業して参りました。

今後とも組合員の皆様と共に課題を共有し知恵を出し合って浄化槽の適正管理し尿処理などの善良管理を通じ、環境保全、健全な水環境の確保等に努力していく所存です。



株式会社 亀田清掃

代 表 者 代表取締役 池田 善徳

所 在 地

〒 041-0804 北海道函館市赤川町 90 番地の 4

TEL 0138-46-3263

FAX 0138-47-5689



会社概要

- 営業時間 8:30 ~ 17:00
- 定休日 日曜日
- 設立年月日 昭和 35 年 4 月
(法人設立昭和 46 年 9 月)
- 従業員数 103 名

営業項目

1. 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、処理
処分
2. 一般廃棄物処理・産業廃棄物処理に関する
公共施設の維持管理事業
3. し尿浄化槽の清浄並びに維持管理事業
4. 土木工事業
5. 管工事業
6. 水道施設工事業
7. 前各号に附帯する一切の業務

系列会社

函館汚泥脱水処理センター

亀田清掃リサイクルセンター



有限会社 共和清掃社

代 表 者 代表取締役 上村 貴行

所 在 地

〒 045-0122 岩内郡共和町発足 2457 番地

TEL 0135-74-3621 FAX 0135-74-3622



会社概要

昭和 57 年 4 月 設立

営業項目

共和町内・神恵内村のじん芥収集運搬委託業務

産業廃棄物収集運搬業務

し尿収集業務

浄化槽清掃・維持管理業務

事業の目的・運営方針

事業方針は、地域社会の環境保全に貢献し、地域住民に信頼される企業を目指すことです。具体的には、以下のような事業を展開しています。

産業廃棄物の収集運搬と浄化槽のメンテナンスサービスの提供。

これらの事業を通じて、地域社会の環境保全に貢献し、地域住民に信頼される企業を目指しています。



空知環境総合 株式会社

代 表 者 代表取締役 江本 勝典

所 在 地

〒 068-0837 岩見沢市宝水町 207-1

TEL 0126-22-0478

FAX 0126-22-5270



会社概要

設 立 昭和 35 年 7 月

従業員 49 名

営業項目

廃棄物収集運搬・中間処理・最終処分

浄化槽保守点検

し尿処理

塵芥の収集 等

事業の目的・運営方針

私たち空知環境総合株式会社株式会社は以下の目標を持つ企業を目指します。

1. 環境保護：地域の自然環境を守り 持続可能な未来を築くための行動を実践します
2. 協力：地域住民や」組合員と協力し 共に環境保全の目標を達成します
3. 教育：地域の環境意識を高めるための教育活動をサポートし、未来のリーダーを育成します
4. グリーン計画：処分場の閉鎖後はお花畑化の実現を目指します

以上 地域の自然環境を守り、共に繁栄する社会を実現することが私たちのビジョンです。



有限会社 恵庭清掃社

代 表 者 代表取締役社長 佐藤 万貴子

所 在 地

〒 061-1405 恵庭市戸磯 76-31

TEL 0123-34-5288

FAX 0123-34-2578



会社概要

昭和 29 年 3 月 創業

従業員 30 名

営業項目

- ・浄化槽の清掃事業
- ・官庁の認可を得た清掃法に基づく業務、それに付帯する事業
- ・塵芥の収集及び運搬

事業の目的・運営方針

地域住民の快適な生活のため 環境保全活動に貢献していく。

- ・家庭ごみやし尿等の適正処理
- ・公共サービスの安定的運営（市委託業務等）
- ・地域社会のインフラ維持とサービスの提供



有限会社 月形環境センター

代 表 者 代表取締役社長 高木 興樹

所 在 地

〒 061-0500 樺戸郡月形町字八重垣町 74 番地

TEL 0126-53-2452

FAX 0126-53-2287



会社概要

平成 7 年 創業

営業項目

- ・一般廃棄物収集・運搬（し尿・汚泥）
- ・浄化槽保守点検・清掃管理
- ・月形町終末処理場施設管理委託業務

事業の目的・運営方針

月形町内一円の清掃、浄化槽維持管理をし、環境に配慮した事業活動の実施



株式会社 佐野衛生舎

代 表 者 代表取締役 蜂谷 武彦

所 在 地

〒 098-6231 北海道宗谷郡猿払村鬼志別東町 299 番地 3

TEL 01635-2-3622

FAX 01635-2-3236



会社概要

平成 24 年 2 月 設立

営業項目

- ・猿払村し尿収集運搬委託業務
- ・浄化槽清掃・維持管理業務

事業の目的・運営方針

株式会社佐野衛生舎の事業内容はごみの回収・輸送を主とし、浄化槽メンテナンスサービス事業、一般廃棄物収集事業を行っています。



有限会社 中川清掃社

代 表 者 代表取締役 中川 一夫

所 在 地

〒 043-0042 北海道檜山郡江差町字上野町 34 番地

TEL 0139-52-2731

FAX 0139-52-5571



会社概要

1949 年 1 月 中川清掃 創業
1980 年 10 月 中川清掃社 設立

営業項目

- ・一般廃棄物収集運搬業（し尿、浄化槽、汚泥）
（事業系、粗大ごみ）
- ・浄化槽清掃、浄化槽保守点検
- ・ボイラー保守点検
- ・消防設備点検 等

事業の目的・運営方針

弊社は 1949 年（昭和 24 年）創業し、地域における環境衛生向上を目指し、し尿汲取業、塵芥収集、浄化槽維持管理業を中心に事業を展開して参りました。

これまでの歴史の中で幾度と環境の変化に見舞われましたが、常に挑戦（チャレンジ）する精神を忘れずに努めてまいりました。

これまで長年に渡り事業を続けて来る事が出来たのは、会社の土台を作ってくれた歴代の社長、社員のご尽力はじめ、これもひとえに地域の皆様方かけ様で創業 73 年を迎えることが出来ました。

ご理解、ご協力や関係機関のご指導、ご支援のおかげと心から感謝申し上げます。

今後もこれまでの 73 年の歴史の中で育まれた信頼と実績をもって社員の団結力をより一層強固なものにしながら、地域社会が抱える問題にも向き合い、快適な生活環境をよりよくしていく為にも社員ひとりひとりが地域の皆様方の「笑顔を第一」に、時代の変化（ニーズ）に対応すべく地域の皆様方のご要望にお応えできる事業展開を推進して参りたいと思います。

道東地方環境整備興発 株式会社

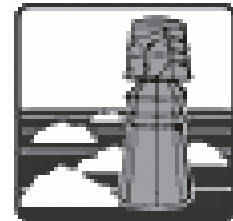
代 表 者 代表取締役 笹谷 稔

所 在 地

〒 093-0046

TEL 0152-44-6393

FAX 0152-43-5084



網 走 市
Abashiri City

会社概要

昭和 48 年 設立

平成 26 年 3 月 浄ナビ認証登録

営業項目

〈よりよい社会・自然環境のために〉

道路側溝清掃・下水道管渠清掃・産業廃棄物収集、運搬・污水处理施設管理

〈よりよい生活環境のために〉

一般廃棄物収集、運搬

事業の目的・運営方針

ちょうど 10 年前 30 周年記念誌で以下のように結びました

我々組合員は組合の長所を再確認し、情報を集め情報等を共有し 環境に適応してそれぞれの地域で必要とされる会社になるよう努力していかなければならないと思います。

あれから 10 年全国環整連を脱退しました。「組合の長所を再確認」の途中で道と中小企業団体中央会の指導が入り 事業の一部変更を行いました。

「情報を集める」のは道の担当部局が主になり 当方 担当窓口の重要性が求められている状況となりました。単独で自立しておられる組合員を組合として存立しているのは まさに創立 40 年の歴史の重みだと思います。

この歴史がなければ道から社会貢献賞の推挙の通知は来ていないと思います。

組合の歴史に新たな理念・意志をつくりあげていけるかが 組合の存亡がかかっていると思います。



道東地方環境整備興発(株)

有限会社 日高清掃社

代 表 者 代表取締役 山田 昭彦

所 在 地

〒 058-0013 様似郡様似町緑町 71 番地

TEL 0146-36-5322 FAX



会社概要

営業項目

創業 昭和 47 年設立

事業の目的・運営方針

正確に 迅速に 親切に

人口 4000 人ほどの様似町とえりも町地域で業務を行っています。

両町とも人口減少や高齢化が進んでいる中 小さな町だからこそ町民の皆様とのコミュニケーションを大切にしています。

笑顔と挨拶を忘れず 運営方針のとおり「正確に・迅速に・丁寧に」を常に心掛けています。



アボイ岳 ジオパーク

有限会社 米津環境清掃

代 表 者 代表取締役 米津 雅崇

所 在 地

〒 068-3171 岩見沢市栗沢町美流渡末広町 24 - 4

TEL 0126-46-2307

FAX 0126-46-2181



会社概要

昭和 37 年 4 月 1 日

営業項目

- ・ 一般廃棄物収集運搬
- ・ 産業廃棄物収集運搬
- ・ 浄化槽清掃・維持管理
- ・ 下水道処理施設清掃・維持管理

事業の目的・運営方針

- ・ 清潔で安全な生活環境を確保すること
- ・ 廃棄物の分別再資源化を通じ、循環型社会の形成



株式会社 北興設備工業

代 表 者 田中 正憲

所 在 地

〒 069-1344 北海道夕張郡長沼町曙町区

TEL 0123-88-2550

FAX 0123-88-3683



会社概要

昭和 44 年 1 月 設立

営業項目

土木工事

管工事

水道施設工事

消防施設工事

浄化槽維持管理

事業の目的・運営方針

事業方針は、主に建設業界において、顧客のニーズに応じた高品質なサービスを提供することにあります。具体的には、以下のような方針が挙げられます

- ・顧客満足の向上：顧客のニーズに応じた高品質なサービスを提供し、顧客満足度を向上させることを目指しています。
- ・環境への配慮：環境保護に配慮し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。
- ・地域貢献：地域社会への貢献を意識し、地域の発展に寄与することを目指しています。



北後志清掃企業組合

代 表 者 代表理事 成澤 希

所 在 地

〒 046-0004 北海道余市郡余市町大川町 7 丁目 72 番地

TEL 0135-21-2660

FAX 0135-21-2189



会社概要

昭和 46 年 2 月設立

資本金 4,800 万円

従業員数 15 人

営業項目

北後志 5 ヲ町村一般廃棄物（し尿）処理運搬業務

産業廃棄物収集運搬業務

産業廃棄物処理業務（肥料の製造）

事業の目的・運営方針

先代である両親が逝去して以降、組合の行事等に参加させていただいております。何も分からない私に、組合員の皆様には多くの事を分かりやすく、そして温かくご指導いただき、心より感謝申し上げます。

先代が残してくれた会社を、職員と共に助け合いながら守り、また組合員の皆様のご指導を賜りつつ、精一杯努力してまいりたいと存じます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



シリパ岬



ニッカウキスキー 余市蒸溜所

有限会社 丸瀬布清掃

代 表 者 代表取締役 小谷 英充

所 在 地

〒 099-0204 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布町西町 6

TEL 0158-47-2508

FAX 0158-47-3102



会社概要

昭和 37 年 7 月 設立

資本金 500 万円

従業員数 3 人

営業項目

浄化槽保守点検・清掃業務

し尿・流し汁収集運搬業務

一般廃棄物収集運搬業務

遺品整理業務・美装関係業務

事業の目的・運営方針

先代である両親が 1962 年（昭和 37 年）にこの仕事を始めてから 63 年が経ちました。大変な時期にこの組合の前身である道央環境保全協同組合のみなさまに手を差し伸べていただき、現在も商売を続けていられることにとても感謝しています。

経験が浅いながら役員を拝命したことにより、役員をはじめ組合員のみなさまと接する機会を得て日々勉強させていただいておりますが、違う職種を長く経験していたからこそその視点で今後も組合のために尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。



北海道白滝遺跡群出土品
国宝指定 ロゴマーク



北海道遺産
森林鉄道蒸気機関車
雨宮 21 号

夕張環境清掃 株式会社

代 表 者 代表取締役 渡辺 綾子

所 在 地

〒 068-0423 北海道夕張市平和 13 番地

TEL 0123-56-6000

FAX 0123-56-6639



会社概要

昭和 53 年 3 月 9 日 設立

資本金 1,000 万円

営業項目

夕張市じん芥収集運搬業務

夕張市容器包装廃棄物処理業務

夕張市葬斎苑管理業務

夕張市一般廃棄物収集運搬業務

浄化槽清掃・維持管理業務

産業廃棄物収集運搬業務

一般家庭排水管等洗浄業務

事業の目的・運営方針

営業項目の推進達成

弊社は知識をより一層深めこれまで以上に 地元 夕張のため、お客様のため
環境問題に真摯に取り組み、住民がより健康的な生活環境に資するために水質保全や
浄化槽の維持管理技術の向上に取り組んで参りたいと考えています。
今後とも宜しくお願い致します。



株式会社 羊蹄清掃社

代 表 者 代表取締役 坂本 辰哉

所 在 地

〒 044-0101 北海道虻田郡京極町字京極 210 番地

TEL 0136-42-2037

FAX 0136-42-2037



会社概要

昭和 37 年 5 月 2 日 設立

資本金 1,000 万円

従業員数 6 人

営業項目

一般廃棄物収集運搬業

浄化槽保守点検及び清掃

室内装飾工事（クロス、床材等）

畳製造・販売

カーテン・ジュエタン販売

衣料品販売

事業の目的・運営方針

当社も組合に属してかなりの年数になりますが 40 年も継続してきたことに対し敬意を表したいと思います。

私たちの仕事はどうしても敬遠されがちなことをしていますがそのことにより担い手不足が今後の課題であります。今は少数精鋭で取り組んでいるのが現状です。

これからも頼れる組合であり私達に寄り添う組合であってほしいと願っています。



◆ 賛助会員のご紹介 ◆

きれいな水を残したい... これが**当社の願い**です。

銘柄	内容量・荷姿	効 能	使用法・使用量(バッキ槽へ投入)
スーパー バラット SS	7kg (35g×108×20個)	新しいタイプのバクテリアが、強力に悪臭をカットし、薬品(塩酸等)や、糖尿病・高血圧などで機能低下している浄化槽を回復させます。オールマイティタイプの悪臭防止・機能促進剤です。	●機能回復・悪臭防止 5～6包/㎡投入 ●維持管理・浄化促進 1ヶ月ごとに5～6包/㎡投入
スーパー バラット SR	10kg (5kg×2ケース)		●機能回復・悪臭防止 適時150～200g/㎡投入 ●維持管理・浄化促進 1ヶ月ごとに150～200g/㎡投入
バラット TS	8kg (40×55×20mm)×2 1面5包入 1カートン20面入	分解能力の優れた微生物を多種類配合しており、種付け剤として最適です。	●種付け 5～50人槽 3～5包/㎡ 51人槽以上 4～5包/㎡ ●浄化促進 3ヶ月ごとに2～3包/㎡
バラット TR	10kg 1箱5kg入×2	また、維持管理として定期的に使いますと、浄化を促進します。	●種付け 150～200g/㎡ ●浄化促進 3ヶ月ごとに50～100g/㎡
バラット KS	8kg (40×55×20mm)×2 1面5包入 1カートン20面入	活性の低下したバクテリアにとってかわり優れた耐久力、能力を発揮して浄化機能を回復させ、不快臭発生の防止・水質悪化を防ぎます。	●機能回復 悪臭防止 初期1面(5包)/㎡ 半月ごとに1～2包/㎡
バラット KR	10kg 1箱5kg入×2		●機能回復 悪臭防止 初期150～200g/㎡ 半月ごとに50～100g/㎡ ●維持管理(機能低下防止) 3ヶ月ごとに50～100g/㎡
バラット BR	10kg 1箱5kg入×2	バルキング等、沈降性の悪化に対して、正常なフロックを形成させる事により、根本的に改善します。	〈小型浄化槽〉 初期200～300g/㎡ 1ヶ月ごとに300～400g/㎡ 〈大型浄化槽〉 初期一日当たり30～50g/㎡を7日間 1ヶ月ごとに50～80g/㎡
バラット NA	12kg (30×108×40mm) 1面10包入 1カートン40面入	投入と同時に不快臭を速やかに分解・脱臭します。	〈浄化槽〉 バッキ槽容量1㎡当たり2～3包 (臭気の程度により加減してください) 〈汲み取り式トイレ〉 便槽容量1㎡当たり5～6包 (臭気の程度により加減してください)



スーパーバラットくん

取扱品目

- ・各種水処理機器
- ・各種水中・陸上ポンプ
- ・浄化槽ブロワー
- ・浄化槽維持管理剤等

水処理機器並びに関連薬品の総合商社



Nikkan
本 社

株式会社 日環商事

〒920-0332 石川県金沢市無量寺10街区10番

TEL (076) 268-1771(代) FAX (076) 267-5348

四国営業所 〒761-1701 香川県高松市香川町大野字松ノ木609-1-206

TEL (087) 885-0762 FAX (0120) 617-718

九州営業所 〒812-0892 福岡県福岡市博多区東那珂2-14-33-803

TEL (092) 483-7288 FAX (0120) 617-718

HOKKAIDO

ISSHIN

製品製作営業品目

- ： 高圧洗浄車
- ： 強力吸引車
- ： 散水及び給水車
- ： バキューム車
- ： 排水管洗浄車(ビルメン)

特装車架装装置整備

- ： 架装装置乗替え工事
- ： プランジャーポンプ・ブロアー・各種真空ポンプ整備
- ： バキュームタンク及び各種タンク・配管修理

特装用 機材用品販売

- ： 高圧洗浄ホース・吸引ホース・洗浄機材
- バキューム車・吸引車用ボールバルブ
- ： 各特装メーカー部品・機器



有限会社 一 伸

米里工場 〒003-0876 札幌市白石区東米里2543番地

TEL 011-874-4234 FAX 011-874-4235

E-mail: iss shin@lapis.plala.or.jp

浄化槽は住環境と 周辺の水環境を守ります

単独浄化槽は約453万基が
残存し、使用されています。こ
れらの地域では雑排水が未処
理のまま公共水域に放流さ
れております。また、河川・湖沼
の富栄養化の改善には、生活
排水からの有機物(BOD)だ
けの除去ではなく、窒素やリン
の除去が大切です。生活排
水に含まれる有機物や窒素・リンは東京湾、伊勢湾、瀬戸内海
などの閉鎖性水域や水道水
源地域の水質汚濁の原因に
なっています。環境保全の為
に生活排水中の脱窒素や脱リンの高度処理機能を持った浄
化槽の普及が重要です。



美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

札幌支店／北海道札幌市清田区真栄328-1 〒004-0839 ☎(011)882-1222
本社／名古屋 支店・営業所／全国34ヶ所

商 号 株式会社 北海特車サービス
所 在 地 札幌市白石区菊水9条3丁目5番19号
代 表 者 代表取締役 上島栄男
電 話 011-812-1948
F A X 011-812-1242



会 社 経 歴

昭和45年 6月 株式会社 北海特車サービス設立
昭和45年11月 富士車輛株式会社と塵芥車（ロータリーローダー）北海道地区販売、サービス代行店契約を締結
昭和46年 9月 東急車輛製造株式会社(現 東邦車輛株式会社)とバキュームカー、真空汚泥吸引車及び高圧下水管洗浄車の北海道地区販売、サービス代理店契約締結
昭和50年 6月 極東開発工業株式会社と塵芥車（プレスバック）北海道地区販売、サービス代理店契約締結
平成10年 5月 シンショー株式会社と洗浄機の北海道地区販売、サービス代理店契約締結
平成13年 8月 豊和工業株式会社と路面清掃車の部品、北海道地区総代理店契約締結
平成16年 4月 トーヨーブラント株式会社と代理店契約締結
平成22年 LC工法協会として下水管補修分野に参入

車輛販売代理店
東邦車輛株式会社
極東開発工業株式会社
富士車輛株式会社
株式会社シンショー
株式会社キュー・アイ
トープラハント株式会社

サービス・部品指定工場
東邦車輛株式会社
極東開発工業株式会社
富士車輛株式会社
豊和工業株式会社
株式会社シンショー
トープラハント株式会社

すべての人が安心して暮らせるための安全な社会、
そのためのモノづくり。



【さまざまな災害現場で活躍する消防車】

【火災を抑える消火器
防災関連製品】



【環境を守るリサイクル
施設機器・プラント】



【生活環境を支える環境保全車】

株式会社北海道モリタ

〒065-0043 札幌市東区苗穂町13丁目2番17号

TEL(011)721-4114 FAX(011)704-1947

札幌北営オリジナル 浄化槽用の採水器

採水君/採水君ミニ



採水君
L=1.2m

採水君ミニ
L=60cm

当社取扱商品一覧



浄化槽関連商品

固形塩素剤(ボンシロール)、
微生物剤(ハイボルカ)、
脱臭剤、消臭剤、
殺虫プレート、理化学機器、
水質検査機器、
試薬、ブロフ、水中ポンプ、
スクリーン、コミュニーター、
散気管、接触材、
FRP補修材、マンホール



特装車両関連商品

アドブルー、バキュームホース、
サクショホース、
カムロック、ボールコック、
高圧洗浄ホース、
管内調査カメラ、
洗浄ノズル、不凍液、
タイヤ、バッテリー、
オイル、各種特装車両



工場排水・
下水処理関連商品

高分子凝集剤(ハイモロック)、
ポリ鉄、PAC、
カセイソーダ、硫酸ばん土、
塩化第二鉄、
次亜塩素酸ソーダ、硫酸、
塩酸、活性炭、流量計、
注入ポンプ、攪拌機、
モノポンプ、汚泥脱水機、
自動スクリーン、破砕機



廃棄物処理

汚泥固化材、工業用消石灰、
キレート剤、ゼオライト、
油処理剤、グリストラップ、
フレコンバッグ、ドラム缶、
メディカルペール、
マスキング剤、デオマジック、
金属探知機、ゴムマット、
ブルーシート、スライコタンク



保安用品関連商品

ラバーコーン、送風機、
ガス測定器、ヘルメット、
エアラインマスク、
防毒マスク、安全靴、
ゴム長靴、消化器、投光器、
電工ドラム、合羽、
胴付長靴、ゴム手袋

浄化槽維持管理補助業務、浄化槽設備調査及び改修工事、各種ブロワー類・ポンプ類オーバーホール

札幌北営株式会社
〒063-0844 北海道札幌市西区八軒4条西4丁目4番6号

TEL: 011-612-1675 FAX: 011-612-9692

E-mail: info@sapporohokuei.com HP: www.sapporohokuei.com/





地球を魅了する塵芥車G-PX E³(イーキューブ)GR-X E³(イーキューブ)

Kawasaki
KMM

北海道川崎建機株式会社

北広島市大曲中央1丁目2番地2 ☎011-377-4947

支店・営業所 札幌・富川・倶知安・旭川・留萌・滝川・稚内・名寄・北見・釧路・中標津・帯広・函館

<http://www.hkwj.co.jp/>

【40周年記念誌 作成に際しご協賛いただいた企業の皆様】

- | | | | |
|------------------|---|-----------------------|---|
| ・協業組合 エクセル三和 | 様 | ・株式会社ハヤシ環境 | 様 |
| ・有限会社 恵庭清掃社 | 様 | ・北興設備工業株式会社 | 様 |
| ・株式会社亀田清掃 | 様 | ・株式会社日高清掃社 | 様 |
| ・有限会社カワバタ衛生企画 | 様 | ・株式会社美唄環境センター | 様 |
| ・北後志清掃企業組合 | 様 | ・有限会社丸瀬布清掃 | 様 |
| ・有限会社共和清掃社 | 様 | ・夕張環境清掃株式会社 | 様 |
| ・有限会社クリーンセンターミカサ | 様 | ・株式会社羊蹄清掃社 | 様 |
| ・株式会社佐野衛生舎 | 様 | ・有限会社米津環境清掃 | 様 |
| ・サンアイ株式会社 | 様 | ・株式会社北海道モリタ | 様 |
| ・株式会社シティック | 様 | ・北海道川崎建機株式会社 | 様 |
| ・株式会社白老清掃 | 様 | ・有限会社一伸 | 様 |
| ・空知環境総合株式会社 | 様 | ・株式会社北海特車 | 様 |
| ・有限会社月形環境センター | 様 | ・株式会社日環商事 | 様 |
| ・株式会社津別総合管理センター | 様 | ・株式会社日吉(ショウナンブンキセンター) | 様 |
| ・株式会社データベース | 様 | ・株式会社北海道モリタ | 様 |
| ・道東地方環境整備興発株式会社 | 様 | ・フジクリーン工業株式会社札幌支店 | 様 |
| ・有限会社中川清掃社 | 様 | | |

特別座談会



参加者

白 老 清 掃	丹羽会長
空 知 環 境 総 合	江本会長
カ ワ バ タ 衛 生 企 画	川幡会長
ク リ ー ン セ ン タ ー ミ カ サ	佐藤社長
ハ ヤ シ 環 境	林 社長
丸 瀬 布 清 掃	小谷社長
事 務 局	西村

司会者事務局西村

本日はお忙しいところ、遠くからはるばるありがとうございました。

組合創立40周年記念誌の一つの企画として、組合の昔の思い出をお話いただき、その内容を載せたいと考えております。フリートークとしますが、こちらから質問をいくつかさせていただいて、スタートをしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、編集委員長の小谷理事から一言ご挨拶を申し上げます。

小谷編集委員長（丸瀬布清掃代表取締役）

うちの母親もこのような場所に参加をしてお話できれば良いのですが、そういう状況

ではないので、皆さんによろしくとのことでした。

実は昨日、母親に北環協の何か思い出はないかと聞くと、「うちがね、色々事情があって元の団体から除名になり、江本さんのお父さんですかね、一緒に脱退をして新しい組織を作っていただいた。それが母体となって北環協になった」との話のほかに「色々大変お世話になった、うちが困った時にはお手伝いに来てもらい、月形には台風の時に行った」とか、そういう話が出てきておりました。

いずれにしても、この組合をこれからも継続させていく中での1つの記念として今回残していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

司会者

どうもありがとうございました。それでは、スタートは堅苦しいですけども、今日ご出席いただいた皆さんに、簡単に自己紹介をしていただこうと思います。

では丹羽会長からお願いいたします。

丹羽会長（株式会社白老清掃）

私どもは会社が白老にありまして、株式会社白老清掃といいます。

現在は会長という役職をやっており、現在は、息子の代に変わり営業しています。

従業員は48人ほどおり車両は現在70台ぐらいあり、役所の仕事や除雪の関係も携わっています。

江本会長（空知環境総合株式会社）

空知環境総合の江本です。

僕は、空知環境に昭和36年からずっと在籍しているのですが、空知環境では社長はやっていません。今から10年前ぐらいに会長就任し現在に至るところなのですが、仕事内容につきまして現社長がすべてについて頑張っているので特に異論はありません。

そして今でも一番僕が思い出せるのは汲み取り時代が一番楽しく、懐かしかったなと思い出されます。

以上よろしく申し上げます。

川幡会長（有限会社カワバタ衛生企画）

改めまして、おばんです。

先日、福田理事長から、組合創立40周年記念の座談会があるので、出席してもらえますかとお電話いただき、皆さんとお話し合いますということでやってまいりました。

私も、社長を辞めてからもう8年ぐらい経つのですが、85歳になると忘れたことが多いです。もう何を喋ったらいいかわかりませんが、岩見沢市栗沢町最上でカワバタ衛生企画という会社の会長でございます。

今日は昔の友達ちゅうか仲間っていうか、なんかそんな感じで今非常に楽しく思っていますので、また皆さんからいろんなお話聞かせてください。以上です。

佐藤社長（有限会社クリーンセンターミカサ）

僕は社長経験10数年しか経ってないのです。

今ちょっと調べたら、川幡さんは平成4年から、丹羽さんは多分平成元年から役職に就かれていますので、すごい歴史があるのだなと思っていていました。よろしくお願いいたします。

小谷社長（有限会社丸瀬布清掃）

丸瀬布清掃の小谷です。

私が役所を退職してやっと丸6年ですが、退職まで母親がなんとか続けるので、お前が跡を継いでくれるものだと思じているようだったので、どこにも行きようがなく跡を継ぎました。まだまだ6年目、よろしくお願いします。

林社長（株式会社ハヤシ環境）

ハヤシ環境の林です。今日は久々に川幡会長とお会いできて大変嬉しく、何年か前にも本当に楽しく飲ませていただきありがとうございます。本当に、本当に懐かしいなと思いつつも、今日元気そうで何よりかなと思っています。

今日は昔の話なども、色々と教えてもらえれば良いかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

司会者

皆さんどうもありがとうございました。

簡単な自己紹介ということで、まずスタートいたしました。

皆さんフリートーク的に話していただいて結構ですので、そこはよろしくお願いいたしますと思います。

皆さんそれぞれ今の会社、代表取締役会長や社長ばかりですが、皆さんこの職業には、やりたかった仕事なのか、それとも若い頃はもっと違う仕事をやりたかったのか、そんな希望通りの会社に入られて現在に至っているのか、その辺の話を聞けたらなと思っていますがいかがですか。

丹羽会長

僕はこの仕事について良かったなと思っています。

僕は元々岩見沢の農家出身で途中を体調壊して、それもあって東京で5年ほど丁稚奉公やって、やっぱり親父がやっている汲み取りをやってみようと思って始めました。

やっぱりこれ正解だなと思っています。昔はもう汲み取りにバキュームはお客様の取り扱いなのです。一般廃棄物の収集なども、本当に楽しかった。

とにかく頭数が足りなくて、僕と親父と当別の人が組んで始めました。

その頃はどの場所を収集しても良かった時代だし、馬車から自動三輪車に変わったばかりな地域と時代だから、値段なんてあってないようなもので、やっぱりそれなりに、ここだけの話、儲けも結構大きかったのですよ。

江本会長

その時代はまだ処理場がないから、農家還元でお金をもらえたり、タバコもらったり酒やおやつもらったり、こんな商売でしたね。当時は…

今のような上品な格好ではなく、とにかく当時はもうね、汲み取りが全部だった。水洗トイレなんて皆無ですし、全ての家がみんな汲み取りだから面白いのです。当時は自分も結構若いからいろんなものくれるのですよ。

「若いのに大変だね」なんて言われてさ、失敗したなんてことは1回もないよ。

この汲み取りやって徐々に会社を大きくして、いろんな分野に出てったってこと。もう汲み取りが時代に合わないなと思ったら、浄化槽に切り替えて浄化槽がダメだなと思ったら、下水のメンテナンスに切り替えたりもした。

これだなと思ったら、もう処分場のようにもう人より先に色々とやって来たから、とても楽しかったのですこの商売は…

司会者

今も大きな土地を買われ何か準備していますよね。やっぱり最終的に辿り着いたのは処分場ですね。

江本会長

そうです。会社ってあんまり必要のない経費ばかりかかり、結局その分やっぱりお客さんに負担が行くわけだ。これから問題になってくるのは、太陽光パネルの問題だと思います。あれをどうするか、これからの維持管理が将来的に問題になってくると思っています。

あんまりメンテできるものじゃない。壊れたら廃棄しかないから入れ替えだったからね。

岩見沢辺りには、管理がしっかりされてなくて破損したままのところもあるように聞いています

司会者

丹羽会長はいかがですか。

丹羽会長

私は元々、美唄生まれなのです。

ここの1つ向こうの炭鉱街なのだけども、中学校まで行って高校に入学して、就職どうしようかっていうことで、当時はそんなに就職口があんまりなかったものだから、父親がこれからの時代は自動車の時代だから自動車を商売としてやれと言われてね、それで札幌の自短に入って、自動車整備の勉強をして、最終的には2級整備士資格取って頑張ったのさ。

それから、今度どうするのかなとも思ったけども、最終的に、うちの会社には工場長もいたし、私も班長まで努めました。うちの親父もここの担当上がりだから、うちの親父から、美唄にも汲み取り屋作ろうという話になり始めたのです。

当時の移動手段は馬車なのです。

そんな当時を俺も見ていたので、その当時清掃社なんかね、まさかやろうなんて思っ
てなかったからね。

色々とあって、美唄から白老に転居して、昔の汲み取り屋の知り合いに頼んで、うち
の父が白老で創業したのです。

当時は昭和 29 年から、うちの親父はまだ地元に品を売ったりしたい時は議員さん全
部集めて協力してもらいました。当時、中村さんという方に社長をやらせて、それが白
老でのスタートなのです。

そのうち私が呼ばれて白老町に来た時にはもう車が 2 台あって当時の日産プリンスと
マツダロンパーかな、結構ボロボロな車で、うちの隣に山陽工業って会社あったから、
俺ちょうど溶接なんかなんでもできたものだから、また今度車を修理して商売を始めま
した。

その当時は町の人口も 23000 人くらいいたので景気は良かったです。昭和 44 年ころ
にごみ処理場が完成していろいろと整備されていった。

今まで色々な人が頑張ってきたから今の成功があるのかなと思っている。そして息子
も自短出て手伝ってくれるようになったり、高圧洗浄車も入れて旭川や室蘭まで行って
処理したりできるようになった。まあまあそのような現状で商売的には上手くいってい
ます。もう自分はほとんど会社には感知せずたまに会社顔を出しているくらいが現状
です。

川幡会長

私の体験からお話します。

私も農家だったんです。農家やっていて町が工業団地をつくるとのことで土地を売り
ました。2 年くらい買収になるまで期間ありまして、その間栗沢町には岩田環境の社長
から是非手伝ってほしいと連絡が着てお手伝いしていました。

自分的にも自分で何か商売をしないといけないと思っていた、親は汲み取りは子供た
ちのことを考えたら反対との意見でした。

結局は正式に契約書を交わして岩田環境の汲み取り部分を引継ぐこととしました。た
だしその期限は 10 年間、その 10 年間で過ぎたときに社長からお前にすべて譲るからお
前の好きなように事業をして良いと言われました。

そこで名前も考えてカワバタにしました。公証役場に行って書類を作成しました。ご
みはだめだけど汲み取りは渡すからと正式に譲渡となりました。そのうち汲み取りが減
って、浄化槽、合併浄化槽、そのうち下水道に切り替わり終末処理場の委託を受け経営
的にも安定してきている。以上のことから本当に汚い仕事とはいえ汲み取りをやって良
かったと思っています。以上が感想です。

その昔は委託料の値上げのため抗議の意味を込めて岩見沢市役所の駐車場にバキュー
ム車を集合させて抗議の意思表示をしたことがあったそうです。

佐藤社長

先代から聞いているにはその昔三笠清掃社に人が足りないので先代上田が入社した。

僕と違って上田は真面目だったから（笑）会社を引き継ぐのに数千万円も払って会社を引き継いだと、とにかく時代は全部汲み取りなので当時5万人や6万人人口いましたから寝る暇がないくらい多忙でした。

また、普段から着るものはきれいにしなさい、バキューム車についても綺麗にしなさいとの教えでした。また賞与、決算手当なども結構もらっていました。

小谷社長

うちはそもそも電気屋だったのです。

北見の電気屋を閉じて丸瀬布に戻り町から汲み取りをやってほしいとの依頼を受けて車両を購入して始めたと聞いています。

私も小さなころからバキューム車に乗って一緒に作業を手伝ったって思い出がありますが、姉が中学校の時に担任の先生に親の職業のことで色々あり転校することになりました。

自分は小学校から集金をしていて領収書が1円券、10円券、100円券など券の種類があり、年末の12月31日にも小学生だった自分が集金に歩くと大変だねと言って物をくれたり、支払いが良くないところもお金をくれたりしたものです。

地域の住民には偏見はなかったけど、学校の教員には偏見が存在したようです。

当時、仕事が終わり親父は晩酌するのだけど、高校生の頃に仕事を手伝った後は「お前も飲みたかったら飲め」という親父でした。

その後、自分は職場に兼職願いをして給料をもらわない形で土日稼業の手伝いをしました。

親からの教えとして、とにかく靴にしても、バキューム車にしても清潔にすること、仕事は常にきれいにすることを心がけました。トイレは人の家の生活が見える、紙の使い方、食べ物や便槽に物を落としても知らん顔の人、まあまあ色々な方がいる。汲み取りをした後にきれいになるというのは凄くうれしいものです。

林社長

子供のころの話から言わせてもらおうと、「便所くみ、便所くみ」ととにかく言われた。小学生のころ上級生によく言われて嫌な思いをした。家の前にバキューム車が置いてあるからすぐにわかってしまい、嫌で嫌でたまらなかった。道徳の時間に職業の時間を作ってもらったり、親にはなんでこんな仕事しているんだと言ったことがある。

学校にも汲み取りは来るし、来るとみんな臭いと窓閉めたりするからほんと嫌だった。やはりそれは家庭での教育、育て方。子供は残酷だから…

朝の食事時間帯には汲み取りしないでくれだとか、お祭り時期は汲み取りしないいでくれとか汲み取りに関しての偏見みたいのは存在する。岩見沢辺りの業者さんはバキューム車にカバーをかけている。一般市民が嫌がるからという感覚なんだろうと思う。

今回の座談会は、当組合が創立以来四十年にわたり積み重ねてきた歩みをあらためて振り返るとともに、その歴史の重みを共有し、次代へとつなぐ志を確認する極めて意義深い機会となりました。これまでの活動の中で培われてきた経験や知恵、そして数多の挑戦の軌跡などが語られる中、皆様の言葉には本会への深い思いと責任感がにじみ出ており、四十年という歳月の確かさを強く実感させるものでした。

また終盤には酒杯も進み、会場は終始和やかな雰囲気になりました。交わされた率直な言葉の数々、そして自然とこぼれる笑顔は、長年にわたり築き上げてきた信頼関係と絆の深さをあらためて浮き彫りにするものであり、単なる組織にとどまらず、人と人との結びつきによって支えられてきたことを感じられました。

これらを確かな礎として、当組合が次の時代に向け、より一層の発展と充実を遂げていくことを心より期待いたします。本座談会が、その新たな歩みを踏み出す契機となることを願いつつ、ここに締めくくりといたします。

【ご報告】

今回の座談会にご参加いただいた（株）白老清掃 丹羽道正会長の急逝の報に接し 大変深い悲しみと驚きを覚えています。座談会でも心のこもったお話を賜りましたことに深く感謝申し上げます。そのお人柄と優しい笑顔は今でも 私たちの心に残っています。

ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに 衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

◇ 編集後記 ◇

本記念誌の編集にあたり、創立 40 周年という節目を迎えた当組合の歩みを改めて辿る機会を得ました。今回は記念式典の開催は見送り、記念誌のみの発刊となりましたが、特別企画として、組合役員と諸先輩の対談を行い、昭和から平成、そして令和へと続く長い年月の中で、多くの先人の努力と情熱が積み重ねられ、今日の組合の姿が形づくられてきたことを実感いたしました。

この十年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の拡大、共同購入事業の一部撤退、全国組織からの脱退など、組合として大きな決断を迫られる出来事が続きました。特にコロナ禍においては困難な局面に直面しながらも、組合員の皆様がそれぞれの現場で力を尽くし、地域の生活を支え続けてこられたことは、まさに当組合の強さであり誇りであると感じています。

また、少子高齢化や人口減少が進む中で、地域の環境を守り育てるという私たちの役割は、これまで以上に重要性を増しています。40 周年はゴールではなく、新たなスタートラインです。小さな組織であるが故のメリットを活かし、組合員に寄り添った活動をしていかなければならないと思います。

本記念誌の制作にあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。限られた紙幅ではありますが、40 年の歩みと、これからの未来への思いが少しでも伝われば幸いです。

なお、本記念誌の発刊が当初の予定より大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。編集作業の過程で内容の精査に時間を要しましたが、その分だけ確かな記録としてお届けできたと考えております。

最後に、組合のさらなる発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、編集後記といたします。

創立 40 周年記念誌編集委員会

小谷 英充・佐藤 親志・林 幹雄

